

# CASBEE®-戸建(新築)

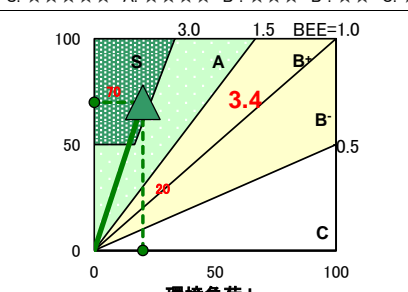
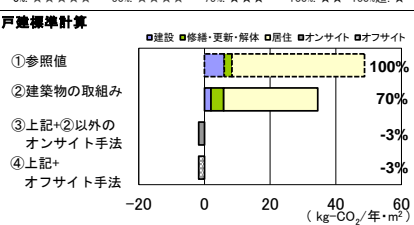
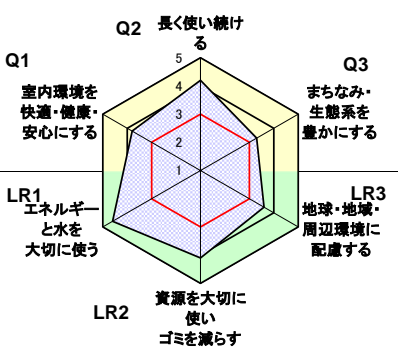
# 評価結果

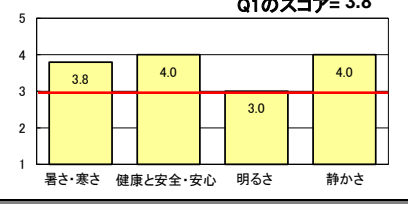
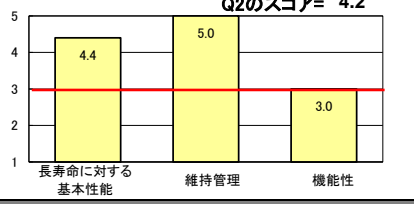
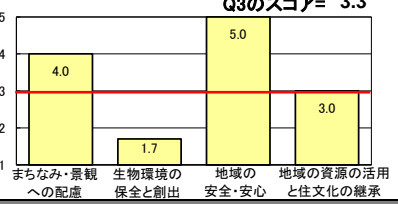
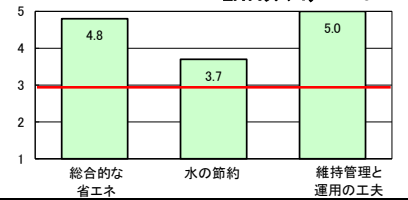
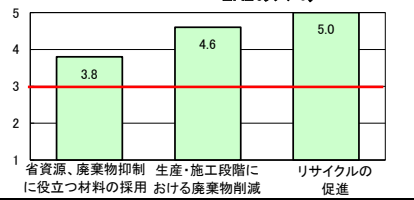
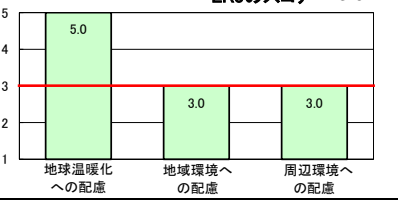
■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-DH\_NC\_2016v1.0

1-1 建物概要			仕様等の確定状況			1-2 外観		
建物名称	熊 俊輔様邸		建物の仕様	確定				
竣工年月	2018年10月	予定	持ち込み家電等	仮				
建設地	長崎県長崎市		外構の仕様	一部確定				
用途地域	準住居地域	確定						
省エネルギー地域区分	7 地域		<備考>					
構造・構法	木造	確定						
階数	2		評価の実施日	2018年7月19日				
敷地面積	223 m <sup>2</sup>	確定	作成者	三ノ宮 浩				
建築面積	74 m <sup>2</sup>	確定	確認日					
延床面積	138 m <sup>2</sup>	確定	確認者					
世帯人数	5	確定						

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE ≒ 3.4</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>  <p>環境負荷 L</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>戸建標準計算</p>  <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> 

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p>Q のスコア = 3.7</p>		
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b></p> <p>Q1のスコア= 3.8</p> 	<p><b>Q2 長く使い続ける</b></p> <p>Q2のスコア= 4.2</p> 	<p><b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b></p> <p>Q3のスコア= 3.3</p> 
<p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p>LR のスコア = 4.1</p>		
<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b></p> <p>LR1のスコア= 4.6</p> 	<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b></p> <p>LR2のスコア= 4.1</p> 	<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b></p> <p>LR3のスコア= 3.6</p> 

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>長期にわたり健康で安全な住宅、かつ、快適で省エネルギーな居住を供し、LCCO<sub>2</sub>がマイナスになることを目指す住宅です。</p>		
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b></p> <p>断熱性能をランクアップ外皮平均熱貫流率以上とし、快適な温熱環境が維持でき、健康的に暮らせる住宅です。</p>	<p><b>Q2 長く使い続ける</b></p> <p>維持管理体制においては、長期優良住宅の維持保全内容にプラスαした点検・アフターサービスを行っています。長期優良住宅に基づく住宅履歴情報・保存・管理もっており、不具合が生じた時の追跡調査も可能です。</p>	<p><b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b></p> <p>まちなみに対し、道路境界線に対し工作物は設けず道路に沿った景観を乱さないようにしている。また、隣接地に対しては十分な距離を確保し、日照、通風の妨げないような配慮を行っている。敷地南西側は河川に面しているため、対岸からの景観にも配慮して隣地住戸と比較しても建物高さは突出しないような形態としている。生態系に対する配慮として食餌木の植栽を計画している</p>
<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b></p> <p>暖冷房設備・換気設備・給湯設備・照明設備は高効率機器を採用し、強化外皮性能を超えるUA値0.46W/m<sup>2</sup>Kにより、太陽光に依存しすぎないLCCM住宅です。太陽光を除く設計一次エネルギー削減率が38%、太陽光を加えた設計一次エネルギー削減率が157%としている。また、HEMSを設置し、消費エネルギーの見える化に配慮しています。</p>	<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b></p> <p>構造材には、持続可能な森林から算出された木材を使用している。外装材、内装材においても改正可能材料で作られたものを積極的に採用している。基礎のコンクリート型枠には、省資源のため鋼製型枠を使用している。また、梱包材の持ち帰りや石こうボードの分別収集など、リサイクルのための取組を行っています。</p>	<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b></p> <p>野鳥の餌となる食餌木の植栽や雨水の地下への浸透を促す砕石敷きを計画している。設備機器の室外機を設置する場所については、隣接地に対して十分な空気を設け騒音・排熱等に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)